

# 搬送ベルト知っとく情報

(16年/04月)No.147  
発行：吉野ゴム工業(株)  
@企画 中平

～ベルトコンベヤ設備をお持ちの皆様にお役に立つ情報をお届けします～

## ◆YOSHINO ワンポイント情報!◆

### 【ベルトの緊張（テンション）】

コンベヤベルトを安定して走行させるには、搬送条件に準じてベルトに均一な緊張（テンション）を与えることが重要です。

緊張不足だと駆動部でベルトがスリップして走行が不安定になり、緊張が過多の場合は過負荷や逆トラフを発生する原因となります。



ベルトに緊張を与える装置としてテークアップ装置を用いますが、今回はテークアップ装置の主な3種類について、特徴と使用上の注意をご紹介します。

#### ● スクリュー式

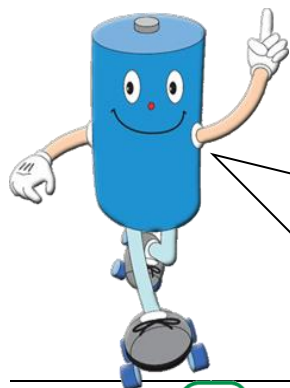
短機長のコンベヤのテールプーリに設置する最もオーソドックスなタイプ。軸受に接続されたネジを回すことで軸受けが前後にスライドしてベルトに緊張を与える。ベルトの伸びに応じて、定期的に人力で緊張を与えなければならない。緊張過多に調整してしまう場合もあるので作業には力量が必要。

#### ● 重錘式

長機長の平ベルトを用いたコンベヤのリタン側で、バンドプーリを介してカウンターウェイトテイクアップで緊張する。常に均一の緊張を与えるのでベルトの走行は安定している。人力による定期的な緊張調整は不要だが、重錘のスムーズな上下動作の確認など日常点検は必須。特にベルトが伸びきって重錘が下部に接したり、堆積物でウェイトが埋まるなどすると機能しない。

#### ● テール台車

テールプーリを台車に搭載し、ワイヤーで重錘と接続。テンションの均一性は重錘式と同様に優れる。バンドプーリが無いので原則メンテナンスは少ないが、台車ユニットの作動確認（レールに噛み込みがないか）などの日常点検は必須。



頑丈なベルト材をコンベヤベルト以外に用いる用途開発に取り組み中。  
是非ご相談ください。

コンベヤベルトは一定の『緊張』が無ければ機能しません。  
人も適度な『緊張』が必要！？  
緊張感を楽しみましょう！

**Yoshino**  
**吉野ゴム工業株式会社**  
YOSHINO RUBBER INDUSTRIAL CO.,LTD.

●大阪Tel>06-6461-5751 ▲東京Tel>03-3883-7159  
◆名古屋Tel>052-602-0090 ★九州Tel>093-551-0775  
■URL><http://www.yoshino-rubber.co.jp>

※搬送ベルトのことならお気軽にご相談下さいませ。当社は ISO9001:2008 全社認証取得致しております。